

‘14 菊花賞(GI)

トーホウジャツカル

5歳 牡 栗毛 谷潔(栗) 馬主:東豊物産 生産:竹島幸治

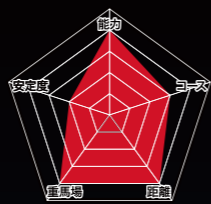
菊花賞馬には相性の良いレース
復活するならば宝塚の舞台か!?

スペシャルウィーク	サンデーサイレンス	Halo
	キャンペンガール	Wishing Well マルゼンスキー レディンラオキ
トーホウガイア	Unbridled's Song	Unbridled
	Agami	Trolley Song Nureyev Agacerie

宝塚GI記念 2016 ギャロウ宝典 出走馬完全解析

騎乗予定▶酒井 学騎手

逃げ	先行
差し	追込
上がり 最速 34秒3	持続型



過去10年で菊花賞を勝利した馬は3頭で4勝(ゴールドシップが13、14年連覇)しているように、同馬の復活を後押しするデータもある。ただ、ラブリーデイの項でも指摘したように、近3走凡走している馬の復活は厳しい様子。天皇賞春5着から宝塚記念での好走例は13年ゴールドシップが1着になっているように復活すれば頭まであっても驚けない。

戦績データ

全成績 3-1-1-6/11
阪神芝 0-0-1-2/3
芝2200m 0-0-0-1/1
右回り 2-1-1-6/10
連対時馬体重 484-490kg

勝負の分かれ目

勝 WIN 長く脚を使えるのが特徴で持久力勝負が好ましい
負 LOSE スローペースから直線の瞬発力勝負では分が悪い

水上学の洞察 去年の4着馬。順調に使い込めない脚元の弱さ、体質の弱さが払拭できないのが痛い。GIレベルならそれでも勝ち負けだが、この相手ではさすがに荷が重い。血統的にも、父スペシャルウィークでは時計がかかる決着になったときに不安が残る。道悪はその分歓迎だが、ただゴール前に急坂のある阪神コースでは、脚元が弱い分割り引きか。絶対能力と状態のバランスという意味で、評価が最も難しい馬。

明石尚典の分析 どうしても追いかけてしまおうのが3分01秒0の超速レコードをマークした菊花賞の「残像」。5ハロン通過60秒9、次の5ハロンも61秒3と大きな中だるみのない淀みない流れ。それでいてラスト4ハロンは11秒7→11秒7→11秒6→11秒6の準加速ラップ。あっさり押し切った姿に怪物級の評価を与えたいのも無理はない。能力は間違いなく超一流。フルに発揮できる状態なら当然、軽視は禁物だ。

事情通のチョイ足し情報

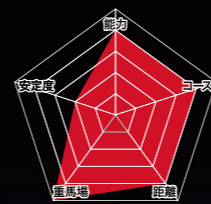
菊花賞以降結果が振るわないが、レコード決着を制した地力の高さは軽視出来ない。前走はマイナス12キロと大きく減らしたが、細くは映らなかった。体重は前走ぐらいがベスト。

境和樹の血統適性度チェック

A ブエナビスタが2着2回、インティライミが11番人気で3着。複勝率50.0%、宝塚記念とスペシャルウィークは意外に相性が良い。長欠明けの昨年も少差4着。侮れない1頭だ。

騎乗予定▶岩田康誠騎手

逃げ	先行
差し	追込
上がり 最速 33秒8	持続型



名門・堀厩舎の中ではどうしても二冠馬ドウラメンテの影に隠れがちだが、昨年の皐月賞では1番人気に支持されていた存在で、ダービーでも3着と素質は4歳世代上位。なお、前走香港からの臨戦では07年アドマイヤムーン(1着)、12年ルーラーシップ(2着)の好走歴がある。2歳秋のデビューから、すでに3年連続で重賞勝利を記録している実績馬。

戦績データ

全成績 4-0-1-3/8
阪神芝 初出走
芝2200m 1-0-0-0/1
右回り 2-0-0-2/4
連対時馬体重 468-482kg

勝負の分かれ目

勝 WIN 弥生賞、京都記念ともに稍重～重馬場。渋ればパフォーマンスUP
負 LOSE 天皇賞秋、香港と負ける時は大敗。精神的な脆さもまだまだ目立つ

水上学の洞察 体質に弱い面があり、なかなか使い込めないのが弱みだが、デキさえまともならGI級であることは戦績から明らかだ。前走香港での大敗は、かなり悪い馬場での京都記念を激走した反動もあっただろう。今回は馬体を立て直してさえいけば、間隔が空いたことはむしろプラスでいきなり走ることはできる。血統的にはかなり重厚で、切れよりパワーであり阪神内回り向きだ。瞬発力勝負では厳しいが、ひと雨降れば勝ち負けになるだろう。

明石尚典の分析 稍重の皐月賞快勝から1分58秒台前半の決着となった皐月賞で6着敗退。レースレコードが飛び出したダービーは最速上がり3着と巻き返したものの、3ハロンごとのラップ4分割が35秒4→35秒9→37秒3→34秒6。7～9ハロン目で大きな中だるみが生まれている。国内直近レースは重馬場の京都記念。3馬身差完勝ならやはり時計のかかる決着でこそがこの馬のキャラ。阪神内回りは最適条件だ。

事情通のチョイ足し情報

半弟の今年の2歳馬は昨年のセレクトセールにおける1歳部門・最高額の2億5380万円で取引。「サトノヴィクトリー」の馬名から分かる通り、オーナーはもちろん里見氏だ。

境和樹の血統適性度チェック

A 若干マイル向きの配合ではあるが、自身が距離をこなしており問題ない。いかにもこのレース向きの非主流派血統で、GI勝ちがない点もプラス材料。道悪になればさらに良い。



‘16 京都記念(GII)

‘15 弥生賞(GII)

‘14 東スポ杯2歳S(GIII)

サトノクラウン

4歳 牡 黒鹿毛 堀宣行(美) 馬主:里見治 生産:ノーサンファーム

美浦の名門が送り込む第二の矢
梅雨空を最も味方につけるのはこの馬?

Marju	Last Tycoon	Try My Best
	Fame of Tara	Mill Princess Artaius
ジョコンダ2	Rossini	Welsh Flame Miswaki
	La Joconde	Touch of Greatness Vettori
		Lust

宝塚GI記念 2016 ギャロウ宝典 出走馬完全解析